

● 現在の経営状況^{*2}

前回からの変化		
住宅・宅地分譲業	16.7 p	5.8 p ↑
不動産流通業(住宅地)	△ 1.2 p	1.1 p ↑
ビル賃貸業	14.7 p	△ 3.7 p ↓

● 3ヶ月後経営状況見通し^{*3}

前回からの変化		
住宅・宅地分譲業	5.0 p	5.0 p ↑
不動産流通業(住宅地)	3.5 p	10.5 p ↑
ビル賃貸業	△ 2.9 p	△ 10.8 p ↓

住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から 5.8p 改善し16.7p。16期連続のプラス水準。

不動産流通業は前回から 1.1p 改善し ▲1.2p。3期連続のマイナス水準。

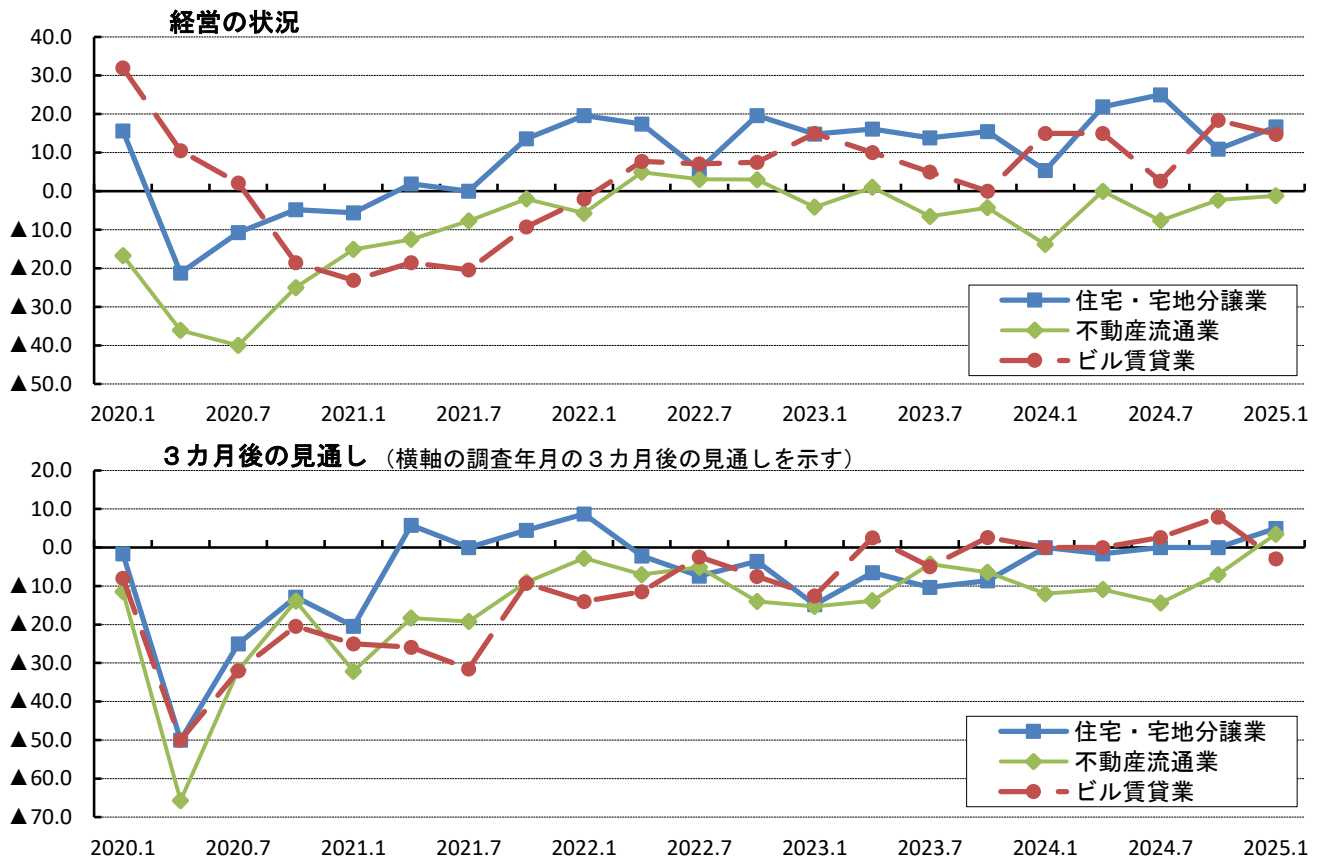
ビル賃貸業は前回から 3.7p 悪化し 14.7p。12期連続のプラス水準。

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業、不動産流通業で改善、ビル賃貸業で悪化、。

^{*1} 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

^{*2} 経営の状況＝{（「良い」×2＋「やや良い」）－（「悪い」×2＋「やや悪い」）}÷2÷回答数×100

^{*3} 3ヶ月後の見通し＝{（「良くなる」×2＋「やや良くなる」）－（「悪くなる」×2＋「やや悪くなる」）}÷2÷回答数×100（調査年月の3カ月後の見通しを示す。）



[不動産業業況等調査結果（pdf）ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」

土地総研メールマガジン 第148号「不動産業業況等調査」